



啓北だより

旭川市立
啓北中学校
令和6年度
学校だより⑤
8月30日 発行

★一步前へ ～夢への挑戦 やろう・やる・やった～

「なぜ挑戦できるのか、なぜ信じられるのか」

校長 東藤 義文

33日間に及ぶ夏休みが終わり、校舎には元気な声が戻ってきました。この間、クーラーがないともたないような暑い日もありましたが、私などは、学校閉庁日もありましたので、ゆっくりと心身をリセットできたように感じています。生徒の皆さんはどうだったでしょうか。ぜひ友達や先生と「あなたの夏休み」を話してください。中には勉強やスポーツに追われた人もいたかもしれませんが、その努力はきっと報われるものと確信します。

休み中はActサミットでの生徒会役員の活躍、中体連水泳や陸上の健闘、金賞そしてまさに今日、全道の舞台に立つ吹奏楽部が学校に光を与えました。本当によく頑張りました。

私はと言うと…眠い目をこすりながら4年に一度のオリンピックを堪能しました。私たちにあって身近に感じられる女子やり投げの北口選手は金メダルを獲得。旭川を、全国を沸かせました。また、団体各種目はその1ポイントに手に汗握りました。勝ち負けを越えて、ライバルと讃え合う姿も多く見られ、まるで現代の若者文化を象徴しているようでした。一方では、SNSによる誹謗中傷も世界的な問題として取り上げられました。

時の流れは早いもので、そんな熱狂も過去の出来事になりそうですが、それでも選手の活躍の奇跡、エピソードには胸が熱くなった、私たちの教訓にしたいことがたくさんありました。特に記憶に残ったのは大会4日目でした。

■男子スケートボードで金メダルをつかんだ堀米選手。最終演技を前にして7位。逆転を狙った技は、過去に1回しか成功していない高難度。「1%の可能性を最後まで信じた」と語る若者の逞しさと勇気と挑戦心、演技直前ギリギリまで何度も挑んでコンクリートにたたきつけられ、今できる限りの努力をする態度に驚嘆させられました。

■男子体操団体は予選段階から不調。本戦もライバル国に大きくリードされ、金メダルは遠のくばかり…苦しい日本チームに奇跡をもたらしたのは、5人が最後まであきらめず、集中力を切らさずに丁寧にやり抜く姿勢、日ごろから苦楽を共にして一つにまとまり、仲間を信頼してきた心のつながり。青春ドラマを見ているような選手の姿に胸が熱くなりました。

さて、ここからが本題です。
今学期は、1学期の「やろう」をうけて、「夢に向かって『やる』（実行）」の学期です。2学期の前半は啓北祭、中盤から後半にかけては職業意識を高めたり、希望進路の実現に向かってしっかりと学習に力を入れます。部活動では新チームの大会も待っています。
その始まりにあたって、ぜひ、先の二つの話を参考にしてください。「なぜ挑戦できるのか」「なぜ信じられるのか」…そこには、無謀や無茶ではない確かな裏付けがあります。
努力の積み重ねや仲間との感動に溢れる2学期を、啓北生みんなで創りたいものです。

追記 やはりオリンピックから

■女子ブレイキンに出場したAMIの金メダルが決まった後、解説者は準々決勝で敗退した41歳のAYUMIについて述べ、「AYUMIさんも素晴らしい人柄です。本当によく戦ってくれましたよ。人柄に金メダルです。」…そう言ってもらえる人になりたいものです。

そこで、各学級に私の好きな言葉の一つ、「外柔内剛」を贈ります。
今学期はぜひ、この言葉を胸の奥にしたためて生活してください。

啓北中の代表として【中体連全道大会】

7月下旬から8月上旬にかけて、中体連全道大会が各地で開催されました。本校からは水泳大会に、HNさん【1年】が、女子200M自由形と女子400M自由形の2種目に出場しました。陸上大会には「男子100M（SRさん【3年】）」「男子200M（MKさん【3年】）」「男子400Mリレー（SRさん・MKさん【3年】）」が出場しました。

残念ながら、全国のキップを手にすることはできませんでしたが、レベルの高い全道大会を経験したことは貴重な財産になったことと思います。

各部、新チームがスタートしています。3年生から学んだことを生かして、来年の中体連で活躍することを楽しみにしています。



《水 泳》	《陸 上～クラブチーム》
◇200M自由形（HNさん）【予選突破】	◇100M（SRさん）【予選敗退】
【決勝：5位入賞】	◇200M（MKさん）【予選敗退】
◇400M自由形（HNさん）【予選突破】	◇400Mリレー（SRさん・MKさん）
【決勝：3位入賞】	【予選突破】【準決勝敗退】

全道大会のキップを手【吹奏楽部】



吹奏楽部が8月3日（土）に、旭川市民文化会館で行われた吹奏楽コンクール旭川地区予選に出場しました。当日は、啓北サウンドを響かせ、最高の演奏を披露し、B編成の部で金賞を受賞し、全道大会のキップを手に入れました。子供たちは感動の涙でいっぱいでした。これも、「生徒の頑張り」＋「顧問」＋「保護者」のチームワークの成果だと思います。本当に、おめでとうございます。

全道大会は8月30日（金）に札幌市（Kitaaraの大ホール）で開催されます。各地区を勝ち上がってきた学校によるレベルの高い激戦になると思いますが、ぜひ、全国大会のキップを手にすることを期待しています。

【感動の「金賞」】



生活・学習Actサミット【生徒会参加】



7月24日（水）に、Actサミットが旭川市民文化会館で開催されました。この集いには旭川市内全中学校の生徒代表が集い、他校との交流を通じて、生徒会活動に役立つ知識や技術を学び、各学校の学校生活の向上につなげていくことを目的としているものです。

今年度の研修①は、「旭川市いじめ防止基本方針を踏まえた生徒が主体となった取組」の推進についての協議が行われました。研修②は、講師を招き、「アナウンサー講座（全校生徒を引きつける、場面に応じた司会を目指して）」の体験学習が行われました。この経験を今後の生徒会活動に生かしていくことを期待しています。



習熟度別学習の実施【数学科】

今年度、本校には、少人数指導加配として、教員が配置されています。この加配を生かし、数学の基礎・基本の定着のために、3年生で「習熟度別の授業」を実施しています。

テスト結果などを参考に、生徒の希望制でクラスを構成し、個々に応じた課題の克服に取り組んでいます。生徒からの感想も、「少人数の方が、先生に質問しやすい」「少人数のおかげで、数学がわかりやすくなり、楽しい」という好評の声があがっています。



やる気につなげるTT授業【英語科】



英語科においても、左記の加配を活用して、英語科の授業を複数教員で行い、生徒への質問や要望にすぐに対応できる体制を整備しています。

生徒の感想も、「わからない時に、質問しやすい」「授業中に声かけをしてくれるので、理解が深まる」など、概ね好評です。

2学期も、TTを通して、生徒の意欲や自信につなげる授業づくりを進めていきます。



9月の主な行事（予定）



- 2日（月）「教育実習Ⅰ（～27日）」
- 9日（月）「啓北祭特別時間割開始（～20日）」
- 11日（水）「学力テスト～総合A（3年）」
- 13日（金）「合唱交流会」
- 17日（火）「合唱リハーサル」
- 19日（木）「啓北祭前日準備」
- 20日（金）「啓北祭」
- 25日（水）「専門委員会」
- 30日（月）「1・2年中間テスト（～9/1）」

